

第7学年 学年だより

個を**活**かし  
集団を**生**きる



令和6年10月11日(金)

板橋区立板橋第三中学校

第7学年だより 第21号

## 全ての物事は繋がっている？

最近の国語の授業のことですが、皆さんはスピーチについて学習を進めていますね。それぞれが学習の目標を立て、最高のスピーチができるように学習をしています。

授業の中で、私と先生とで「最高のスピーチをするために」という話をしたことを覚えているでしょうか？その話をしたときには答えが出なかったのですが、先日の学年集会の先生の話で一つの形が見えたように感じています。

皆さんは、先生の話したことを覚えているでしょうか？

**赤学年**を

良いチームにしよう！

**良いチームの条件**

**具体的**

① チームで声をかけあう

**良いチームの条件**

**自立**

② 個人が上手くなる  
ろうとする

体育の授業での話を基に、「赤学年を良いチームにしよう！」という話をしてくださりました。「具体的な声かけ」、「自立」という2つのキーワードを中心に、改めて生活の基準についてお話をさせていただきましたね。

「休憩時間は次の時間の準備」

「チャイムは座って聞く」

「給食準備は40分からスタート」

「トイレは基本的に休憩時間で済ませる」

「トイレの目的が終わったら次の授業準備をする」「学活・掃除後は部活に向かう帰宅をする」

どれも4月のころから伝えていることです。校則やルールといったものではありませんが、日々の生活をスムーズに送れるように伝えてきたものです。一人一人が意識すれば、生活の質も変わってくるでしょう。

学校とは、集団で生活をする場です。もっと大きな視点をもつと、社会も同じです。個性を伸ばす、個に応じた・・・といった、「個人」に焦点をあてて話をする機会も多くなってきていますが、人は一人で生きることではできません。

もちろん勘違いしないでほしいのですが、個人が大切でないということではありません。私達は学年だよりのタイトル「個を活かし 集団を生きる」にもあるように、個も集団もよいところを伸ばしてほしいと思っています。私達教員の願い、思いが詰まったお話をしてくださったのだなと思い、話を聞いていました。

この話をするために、先生はドキュメント1枚分に渡る原稿を用意していました。この話の成功とは何かを考えて、逆算して話す内容（構成）を考えていたそうです。たまたま国語の授業をしているときに通りかかった岡本先生が、いくつかのクラスで話をしてくれました。

今学んでいることは、他のなにかに繋がっています。もちろん、授業だけではありません。今の生活も、これから先につながっています。文化祭、区内めぐり、運動会、移動教室、職場体験、修学旅行……。そして、これからの人生にもです。そういったことを感じながら、今の生活を過ごしていけるといいですね。

きっと君たちなら、できる。残りの中学校生活でどれだけ成長していくことができるか、ワクワクしながら見守っていきたいなと思っています。

## フィッシュボーンを作りました！

本年度の文化祭も、文化会館で合唱を行います。中学校に入学して初めての合唱に向けて、各クラスで課題や目標を出し合い、図にして示しました。

よりよい合唱になるように、それぞれのクラスでの課題の共有を行うだけでなく、一人一人の目標も立てることができました。

文化会館での合唱も、気づけばもうすぐのところまでやってきています。今回の経験が良い経験となり、良い思い出となることを願っています。

他のクラスのものも廊下に掲示されているので、是非確認してみてください。新たな発見があるかもしれませんよ！



## 来週以降の予定！来週も頑張ろう！

	1校時	2校時	3校時	4校時	給食	5校時	6校時	備考	下校予定時刻
15日(火)	①	②	③	④	○	⑤	⑥		15:50
16日(水)	①	③	④	⑤	○	/	/	月曜時程②⑥カット 学びのエリア研修会 部活再登校16:00~	13:20
17日(木)	①	②	③	④	○	⑤	⑥		15:50
18日(金)	①	②	③	④	○	⑤	⑥		15:50

## 保護者の皆様より ~ご協力ありがとうございます~

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動へのご協力、誠にありがとうございます。

今週は、生徒会立会演説会が行われたり、文化祭に向けて合唱の練習が活発に行われたりしました。生徒会活動や行事などを通して、一人ひとりの頑張りや、周りへの貢献が、個人の成長にも、学年・学級・学校全体の成長にもつながっていくように、「個を生かし、集団を生きる」実践になっていって欲しいと思います。日々の学習、新しいチャレンジ、友達とのつながり、先輩から学ぶことなど学校だからこそできる体験を通して、この2学期も赤学年が大きく成長していくことを目指していきます。

